

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 藤岡市立美土里小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒375-0052
群馬県藤岡市下大塚222番地

E-mail master@midoric1-es.gsn.ed.jp

Website <http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1010005>

児童生徒数 男子 260名 女子 226名 合計486名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

1 人権教育

平成27・28年度にわたり、藤岡市人権教育実践推進校の指定を受け、本年度は初年度となる。そこで、この間は人権教育に重点的に取り組むこととした。

研究テーマを、「自ら学びを創造する、心豊かな児童の育成 ～授業中の積極的な生徒指導を基盤とした指導の充実を通して～」とした。

人権に関わり、小学生の発達段階では、「いじめをはじめとする差別や偏見を見抜く力（確かな判断力）と、いじめ等をしない、させない、許さない実践力（豊かな心）を身に付けた児童の育成」を目指す。そのために、日常的な常時指導を基盤に、職員研修を計画的に積み上げながら、児童主体の活動を教育活動に位置付け実践した。

(1) 人権学習週間・月間（年2回）

- ・オープニング集会： 企画委員による発表「あいさつの花を咲かせよう」
人権テーマソング演奏、全校合唱「いつだって！」
- ・あいさつ運動（スマイルハイタッチ運動） 小中合同あいさつ運動の実施
- ・ほかほかタイム（友だちのよいところを、給食時の全校放送により共有）
- ・ハッピー・ハートフルツリー（いいところ見つけの花）運動
- ・JRC登録式、人権標語募集、（道徳、学活の授業）
- ・いじめアンケート： 学級会、企画委員による「いじめ絶対しないぞ宣言」
- ・人権コンサート：“理子さんライブ” 「いのちの歌」の全校合唱
- ・エンディング集会：“ふりかえりカード”で人権活動の継続を宣言。

(2) 児童会活動

- ・仲良し集会（年2回） 全校児童での楽しい集会（縦割り班活動の全校版）

2 高山社学（世界遺産）

藤岡市では、世界文化遺産に登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」の一つである「高山社跡」を活用し、校区ごとに特色ある教育活動に取り組んでいる。

なお、この取組は人権教育の中に位置づけ、豊かな心の育成にもつなげている。

(1) 養蚕体験

3年時に、理科の生物観察の対比学習として、蚕の飼育を行っている。約500粒の卵から、予想や観察、調査、まとめ、発表の過程で、学びのスキルを獲得する取り組みとともに、他者との交流を意図的に組み込みながら、人権教育との関連を意識し、自己決定や相互理解の思いを深めさせていった。

この実践では、群馬県の絹文化プロジェクトともタイアップし、養蚕の成果として、絹織物による校旗を作成した。これは、本校の学習文化として、今後の児童たちに継承していくシンボルとなっていくものである。

(2) 9年間の系統性を整理した教科横断的な学習

藤岡市で取り組んでいる小中一貫教育に関連し、小中合同研修部会において中学校区の高山社学系統表を作成した。学年のつながり、教科・領域の関連づけを図りながら、効果的な学習づくりに取り組んでいる。

児童は、ユネスコスクールの一員として様々な学習や活動を行う中で、他者との関連や地域・社会との関わりを意識するようになってきている。そして、自分のよさや他の人のよさに気づき、さらには自分たちの住む地域への愛着や誇りを高め、関わろうとする思いや態度が育まれてきている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）